Ⅱ．入学者選抜

２．特別選抜

２－３．社会人コース特別選抜

２－３．社会人コース特別選抜

社会人コースは主に社会人を対象としており、講義及び研究指導は石川キャンパス及び東京サテライトで実施します。東京サテライトでの講義及び研究指導は、平日（月～金曜日）の夜間及び休日（土・日曜日、祝日）に実施します。

博士前期課程は、次のプログラムの中から入学後に希望のプログラムを選択します。

なお、社会人コースに出願される際は、教員一覧（トップページ→東京サテライト→［概要］講義担当教員一覧）を確認し、指導を希望する研究室の教員と事前に連絡を取り、研究室受け入れの内諾を得ることを推奨します。

研究室受け入れの内諾を得ていない場合、入学後の研究室配属において希望する研究室に配属できない場合があります。

技術経営（MOT）プログラム

技術経営（MOT：Management of Technology）は、技術を活用してイノベーションを実現することで企業の競争力とする経営のことを指します。JAIST における技術経営プログラムは、こうした経営ができる人材の育成、即ち「技術の分かる経営者、経営の分かる技術者」の育成を図ります。本プログラムでは、従来の MBA や MOT とは異なり、知識科学を基盤とした MOT、すなわち技術やアイディアをシステムとして実現し価値を創造する人間の「知識」を経営リソースとして活用するマネジメント、技術とサービスの統合によるイノベーション・マネジメントに重点を置いています。多くの科目は、グループワーク等、少人数での討論重視のインタラクティブな講義で教育効果を高めています。また修士論文研究を重視し、研究を通じて表層的でない知識の真の理解、問題解決能力および応用力を高め、学位取得に繋がるように設計されています。そのため、受講者の社会での有職経験に基づく討論への参加と貢献が重要であることから、有職経験概ね 3 年以上を有する社会人の入学を期待します。

サービス経営（MOS）プログラム

少子高齢化が進み地域の活性化が課題になっている我が国において、医療・福祉（看護、介護を含む）、教育、観光サービスの重要性は益々高まってきています。また、これらのサービスは独立ではなく、地域の中で互いに絡み合っており、それらを統合的に考えることがイノベーションの可能性を高めます。また、組織の様々な業務をサービス経営の視点で捉えることで諸課題を解決する研究・実践も進んでいます。サービス経営（MOS：Management of Service）プログラムでは、サービス経営全般の知識を習得しながら、知識科学とサービス科学を基礎にした医療・福祉・教育・観光サービスおよびサービス視点での組織のイノベーション研究を、本分野で最前線の研究を行っている教員と一緒に行い、これを業務や経営で実践することのできる人材の育成を図ります。多くの科目は、グループワーク等、少人数での討論重視のインタラクティブな講義で教育効果を高めています。受講者の社会での有職経験に基づく討論への参加と貢献が重要であることから、有職経験概ね 3 年以上を有する社会人の入学を期待します。

IoT・AI イノベーションプログラム

IoT（Internet of Things）／人工知能（AI）／CPS（Cyber-Physical System）などのデジタル技術の進展と普及により、従来なかったビジネスおよびビジネスエコシステムが登場し、社会に大きな変革（第４次産業革命、スマートインフラ、スマートカー、スマートシティ、デジタルトランスフォーメーション）をもたらしつつあります。この変革は、産業界にとってイノベーション創出の大きな機会ですが、その実

現は容易ではなく、困難を克服し機会を生かすイノベーション・マネジメントが求められています。IoT・AI イノベーション（IAI：IoT/AI Innovation）プログラムでは、JAIST が得意とする最先端の情報技術と技術・サービス経営の研究・教育の実績に基づき、最近の付加価値や競争力の源泉である IoT／AI／CPS などのデジタル技術の習得とともに、いかにしてイノベーションを起こすかにも焦点を当て、IoT・AI イノベーションを先導する人材の育成を行います。本プログラムでは、技術・サービス経営の知識に加え、最先端の情報科学の講義を学びます。また、学んだことを研究論文としてまとめることで、IoT・AI イノベーションの本質を理解し、ゼロから新しい価値を創造できる思考力・応用力が身につきます。

１．募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		令和７年 10 月入学	令和８年４月入学
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	45 名 (注 1,3)	45 名 (注 2,3)

（注 1）社会人コース特別選抜令和７年４月募集人員を含みます。
（注 2）社会人コース特別選抜令和８年 10 月募集人員を含みます。
（注 3）高度情報専門人材育成コース募集人員の若干名を含みます。

※高度情報専門人材育成コース
JAIST では、文部科学省の令和６年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の採択に伴い、令和７年度 10 月から、高度情報専門人材育成コース（通称、JAIST×Human コース）を開設します。
本コースの詳細については本学 HP（https://www.jaist.ac.jp/project/jaist-human/）を確認してください。

２．出願資格

入学希望月の前月末日までに[要件 A]の(ア)又は(イ)のいずれかに該当し、かつ、[要件 B]の(1)～(11)のいずれかに該当する者。

[要件 A]
（ア） 大学等を卒業後、入学時までに６か月以上の有職経験があり、現に就業し入学後も就業しながら修学する者
（イ） 大学等を卒業後、10 年以上の有職経験がある者

上記(ア)、(イ)の有職経験には非常勤を含む。ただし学生の間のアルバイト、ＴＡ、ＲＡ等は含まない。

[要件 B]
(1) 日本の大学を卒業した者
(2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(学校教育法第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者)
(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
(4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施

設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等）

(9)　次に掲げる事項を満たし、本学の定める単位（当該大学の卒業又は外国における大学の教育課程に相当する教育課程の修了に必要な単位数のうちおおむね4分の3以上）を優秀な成績で修得したと認めたもの

①　日本の大学に3年以上在学した者

②　外国において学校教育における15年の課程を修了した者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者

④　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(10)　学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（本学における出願資格(9)に相当する資格により他の大学院へ入学し、その後本学への入学を希望する者等）

(11)　本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格[要件A]の（ア）又は（イ）に該当し、かつ、[要件B]の（1)～(8)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありませんので、「３．出願期間」に進んでください。

［入学資格審査］

出願資格[要件B]の(9)、(10)、(11)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ（入学案内→学生募集要項）からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

試験区分			提出締切日（必着）
社会人コース特別選抜	令和7年10月入学		令和7年 4 月22日(火)
	令和8年4月入学	第1回	令和7年 8 月 1 日(金)
		第2回	令和7年10月22日(水)
		第3回	令和7年12月19日(金)

入学資格審査の詳細については、入学資格審査要項を参照してください。

［入学資格審査 URL］

https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html

審査結果通知書は、出願締切の１週間前までに本人宛に通知します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

３．出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「４．インターネット出願登録」を行ってください。

試験区分			出願期間
社会人コース特別選抜	令和７年 10 月入学		令和７年 ５ 月 28 日(水)～ ６月 10 日(火)
	令和８年４月入学	第１回	令和７年 ９ 月 １ 日(月)～12 日(金)
		第２回	令和７年 11 月 19 日(水)～12 月 ２日(火)
		第３回	令和８年 １ 月 15 日(木)～28 日(水)

※第１回～第３回とも出願することは可能ですが、出願手続はその都度行う必要があります。

４．インターネット出願登録

本選抜はインターネットで出願登録を行います。

インターネット出願登録は本学ホームページ（入学案内→インターネット出願）のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細については、インターネット出願登録サイトを参照してください。

［インターネット出願登録サイト URL］

https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・納付された検定料は原則返還しません。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、証明書及び所定の様式等をアップロードする必要があります。

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードし、直接入力してください。

［所定の様式ダウンロード URL］

https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-m.html

① 出願者全員がアップロードする書類

出願書類等	備　　　　考
成績証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学・高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書も併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。 紙の証明書の写真データを PDF 化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。 ※合格者は結果通知日から１カ月以内に本紙（紙媒体）を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。
卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可	出願資格を満たす出身の大学長、学部長等が日本語又は英語で作成した卒業（見込）日入りのものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 出願資格(9)～(11)のいずれかに該当する者は提出不要。 紙の証明書の写真データを PDF 化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。 ※合格者は結果通知日から１カ月以内に本紙（紙媒体）を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。
顔写真	出願前３か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー顔写真データ（jpeg，jpg，png，bmp のいずれかのファイル形式で最大 2MB まで）を用意し、インターネット出願登録サイトに従いアップロードすること。 ※面接試験当日に本人確認に使用するため、写真の加工はしないこと。
職歴調書 ※本学所定様式	書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること(補足資料の添付は不可)。
小論文 ※本学所定様式	**課題：「本学入学後に取り組みたい研究課題について」** 研究の背景、目的、内容、方法等を自分の考えに基づいて記述すること。なお、研究の準備状況やこれまでの研究（たとえば卒業研究）との関連あるいは専門を変える理由等を追加してもよい。 書類は日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度で横書き。 また、11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること(補足資料の添付は不可)。

エントリーシート ※本学所定様式	以下について記入すること。 ① 「技術経営」「サービス経営」「IoT・AI イノベーション」のうち最も関心のあるプログラム ② 関心の高い研究室（研究室の教員名を少なくとも 1 名は記入すること。関心の高い研究室が複数ある場合、関心の高い順に 3 名まで記入できる。教員名はフルネームで記入すること。） ③ 希望する学位（3 頁を参照の上、知識科学、情報科学から 1 つを選択すること。） ④ これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3 科目） ⑤ 本学を志望する理由 ⑥ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標 書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
特定類型該当性の自己申告書 ※本学所定様式	

② 該当者のみアップロードする書類

＜出願資格［要件 B］(2) (3) (6)該当者＞

出願書類等	備　　　　考
学士の学位授与証明書 ※写し（コピー）不可	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。 卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。 紙の証明書の写真データを PDF 化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。 ※合格者は結果通知日から１カ月以内に本紙（紙媒体）を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。

＜出願資格［要件 B］(3) (4) (5) (6)該当者＞

出願書類等	備　　　　考
学校教育等履歴書 ※本学所定様式	大学に限らず、外国において学校教育を受けた出願者は提出が必要。

＜高度情報専門人材育成コース希望者＞

出願書類等	備　　　　考
高度情報専門人材育成コース申請書 ※本学所定様式	本コースを希望する者は提出すること。本コースは「情報科学」の学位取得を希望する者に限る。エントリーシートの希望する学位が「情報科学」以外の者は本コース対象外。 なお、社会人特別選抜において申請可能な選抜は下記のとおり。 ・令和７年１０月入学博士前期課程入学者選抜試験 ・令和８年４月入学博士前期課程入学者選抜試験（第１回）

＜外国籍の出願者＞

出願書類等	備　　　　考
パスポートの写し	外国籍の出願者は、出願期間内に有効なパスポート（氏名が記載されたページ）の写し及び有効な在留カード（両面）の写しを併せて提出すること。
在留カードの写し	

＜婚姻等により証明書と氏名が異なる者＞

出願書類等	備　　　　考
戸籍抄本等	旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注)「写し（コピー）不可」について

証明書は写し（コピー）ではなく、原本をアップロードしてください。なお、出身大学等による厳封がされているものは開封してアップロードしてください。その場合でも、合格後の本紙提出時には出身大学等による厳封された証明書をあらためて提出する必要があります。

原本のアップロードができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）をアップロードしてください。

５．受験票の発送

「４．インターネット出願登録」が完了し、出願を受理した時は、本学から受験票等を郵送で、受験上の注意等をメールにてそれぞれの出願締切後に送付します。出願を受理したかについての問い合わせには回答しません。受験票等が試験期日の１週間前までに届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。

６．試験期日及び選抜方法

(1)　試験期日

試験区分に対応して、次に定める期日のうち、本学が指定した１日に試験を行います。

受付時間及び試験時間は、発送する受験票で通知します。

<table>
<tr><th colspan="3">試験区分</th><th>試験期日</th><th>実施方法</th></tr>
<tr><td rowspan="4">社会人コース特別選抜</td><td colspan="2">令和７年10月入学</td><td>令和７年 ７ 月 ５ 日(土)・ ６日(日)</td><td rowspan="4">オンライン</td></tr>
<tr><td rowspan="3">令和８年４月入学</td><td>第１回</td><td>令和７年10月11日(土)・12日(日)</td></tr>
<tr><td>第２回</td><td>令和８年 １ 月10日(土)・11日(日)</td></tr>
<tr><td>第３回</td><td>令和８年 ２ 月21日(土)・22日(日)</td></tr>
</table>

(注)試験日は出願者数や面接委員の専門等にも関係するので、時間帯を含めて出願者の希望や変更は受け付けません。

(2)　選抜方法

試験は、面接により次のとおり受験者１名に対して30分以内で実施します。

面接は、PC等から利用可能な本学指定のウェブ会議システムを使用し、オンライン形式により実施します。オンライン入試では、ウェブカメラとマイクが必要です。詳細は、本学ホームページにて公開の「オンライン入試Q&A」を十分確認の上、受験に必要な設備及び通信環境を自身で準備し

ておいてください。なお、本学と各受験者の間で各試験期日の数日前（平日）から事前接続テストを実施します。

［オンライン入試 Q&A URL］
https://www.jaist.ac.jp/admissions/outline/qa-m-online.html

① 出願時に提出した小論文の内容の口頭発表
- 口頭発表時間は 7 分以内
- 口頭発表資料は PDF などにより静止画像（ページ枚数は自由、横（辺の長いほうが上下にくる）向き資料推奨）で作成してください。
- 口頭発表は、ウェブ会議システムの共有機能等により、資料を全画面にて表示し実施します。
- 発表時、手持ちの紙原稿の使用は認めますが、その他の資料・機器等の持ち込みや配付は認めません。

② 出願時に提出した小論文・エントリーシートの内容に関する口頭試問
- 口頭試問時間は 23 分以内
- 口頭試問では、記述説明を求めることがあります。記述説明用の用紙（罫線無しの白紙の A4 サイズを 5 枚程度）及びペン（黒・青等のフェルトペン）を準備してください。面接委員から記述説明を求められた場合は、用紙に記述の上、ウェブカメラに表示し説明してください。

(3) 評価基準及び合否判定基準

面接試験では、入学後に学修・研究を行う上で必要な基礎的な学力・能力や意欲等について総合評価します。

面接試験の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

7．合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者発表日及び入学手続

次のそれぞれの合格者発表日に、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者にのみ結果通知書等を発送します。

また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分			合格者発表日	入学手続期限
社会人コース特別選抜	令和 7 年 10 月入学		令和 7 年 7 月 18 日(金)	令和 7 年 9 月上旬予定
	令和 8 年 4 月入学	第 1 回	令和 7 年 10 月 24 日(金)	令和 8 年 2 月下旬予定
		第 2 回	令和 8 年 1 月 23 日(金)	
		第 3 回	令和 8 年 2 月 27 日(金)	令和 8 年 3 月中旬予定

(2) 入学時納付金

区分	金額	摘要
①入学料	282,000 円	・入学手続書類に同封する振込依頼書により納付してください。 ・納付された入学料は返還しません。

②授業料	前・後期各	267,900 円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。 ・授業料の振替日は、前期分が毎年 5 月 20 日、後期分が毎年 11 月 20 日です。 ・年額での納付も可能です。
	年額	535,800 円	
③保険料 (2 年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)		2,430 円	・左記 2 つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

（注）１．納付金についての詳細は入学手続時に通知します。

２．入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

８．その他の重要事項

「Ⅲ．重要事項」を必ず確認してください。